

# 工事書類作成の手引き (参考資料集)

平成28年4月

# 清流の国ぎふ憲章

～ 豊かな森と清き水 世界に誇れる 我が清流の国 ～

「清流の国ぎふ」に生きる私たちは、

**知**

清流がもたらした  
自然、歴史、伝統、文化、技を知り学びます

**創**

ふるさとの宝ものを磨き活かし、  
新たな創造と発信に努めます

**伝**

清流の恵みを新たな世代へと守り伝えます

## 工事関係様式集

## 第1節 様式集

様式番号	様式名称	手引き掲載
岐阜県建設工事共通仕様書		
様式1	施工計画書（記載例）	第1章-第3-2
様式1-1	鋼橋仮組立計画書	
様式2	支給材料受領書	第2章-第2-6
様式3	支給材料精算書	第2章-第2-7
様式4	貸与品借用書	
様式5	現場発生品調書	第2章-第2-8
様式6	材料検査（試験）願	
様式7	事故発生報告書	第2章-第1-9
様式8	休日・夜間作業届	第2章-第1-7
様式9	工事日誌	
様式10	標識	
様式11	工事完成の標示	
様式11-2	コンクリート構造物（現場打ち）の銘板	
様式12	指示・承諾・協議・提出・報告書	
様式12-1	施工打ち合わせ記録簿	第1章-第3-1
様式13	使用材料調書	第2章-第1-4
様式15-1	段階確認報告書	第2章-第1-6
様式16	工事履行報告書	第2章-第1-10
様式17	契約履行期間の延長申請書	第2章-第2-5
様式18	施工体制台帳	第1章-第3-6
様式19-1	施工体系図（施工計画書用）	第1章-第3-6
様式19-2	施工体系図（現場掲示用）	第1章-第3-6
様式20	着工届	第2章-第1-1
様式22	現場代理人・主任技術者・監理技術者届	第1章-第1-1
様式24	請負代金内訳書	
様式25	出来形届書	第2章-第2-2
様式26	出来形内訳書	第2章-第2-3
様式27	完成届	第3章-第1-1
様式※	様式一覧表	第2章-第1-13
様式1	測定結果総括表	第2章-第1-11
様式2	測定結果一覧表	第2章-第1-11
様式3	出来形品質・管理図表	第2章-第1-11

様式番号	様式名称	手引き掲載
様式4	出来形・品質管理図（工程能力図）	第2章-第1-11
様式5	度数表	第2章-第1-11
様式6	アスファルト混合物の敷均時の温度測定	
様式7	塗膜厚測定管理表	
様式8	コンクリート中の塩分測定表	
様式9	テストハンマーによる強度推定調査票	
様式10	ひび割れ調査票	
岐阜県建設工事検査要領		
工検様式1	工検様式1号(検査通知書)	
工検様式2	工検様式2号(検査命令書)	
工検様式3	工検様式3号(検査結果報告書)	
工検様式3-1	工検様式3号-1(工事成績報告書)	
工検様式3-3	工検様式3号-3(検査結果一覧表)	
工検様式4	工検様式4号(検査結果通知書)	
工検様式5	工検様式5号(検査結果指示書)	第3章-第1-3
工検様式6	工検様式6号(軽微な修補完了確認報告書)	第3章-第1-4
工検様式7	工検様式7号(修補改造命令書)	第3章-第1-5
工検様式8	工検様式8号(修補改造完了届)	第3章-第1-6
岐阜県建設工事成績評定要領		
工評様式1	工事成績評定表	
工評様式2	細目別評定点採点表	
工評様式3	工事成績評定結果通知書	
工評様式別表-1	項目別評定点表	
工評様式4	工事成績評定に係る説明書	
工評様式5	工事成績評定に係る再説明書	
工評様式6	創意工夫に関する実施報告書	第3章-第2-6
工評様式7	社会性等（地域への貢献等）に関する実施報告書	第3章-第2-6
その他		
様式1	工事事故速報	第2章-第1-9
様式1	建設業退職金共済組合証紙購入状況報告書	第1章-第1-2
様式1	前払い金請求書	第1章-第1-3
様式2	中間前払金認定請求書	第2章-第2-1
様式3	中間前払金認定調査	第2章-第2-1
様式1	再生資源利用計画書（実施書）	第1章-第2-2
様式2	再生資源利用促進計画書（実施書）	第1章-第2-2
廃様-1	マニフェスト管理票	第3章-第2-10

## 第2節 その他参考

第2号様式

## 支給材料受領書

仕様書番号 第 号

工事名 工事

契約に基づき下記材料を受領しました。

記

品名	規格	数量	単位	摘要

平成 年 月 日

受注者住所

氏名

印

様

第3号様式

## 支給材料精算書

仕様書番号 第 号

工事名 工事

契約年月日 平成 年 月 日

上記の契約に基づく支給材料を下記のとおり清算しました。

記

品名	規格	数量			摘要
		支給数量	使用数量	残数量	

平成 年 月 日

受注者住所

氏名 印

上記の支給材料精算書は事実に相違ないことを証明する。

監督員職氏名 印

様

第5号様式

# 現場発生品調書

年 月 日

岐阜県知事 様

受注者 氏名 印

工事番号

工事名

上記工事において下記調書の現場発生品が生じたので納入します。

記

品名	規格	単位	数量	摘要

第7号様式

番 号  
平成 年 月 日

〇〇〇〇〇〇事務所長〇〇〇〇様

受注者住所  
氏 名 印

## 事 故 発 生 報 告 書

今般、下記のとおり事故が発生したので報告します。

記

1. 事故発生の日時 平成 年 月 日 ( ) 時 分頃
2. 事故発生場所
3. 事故発生の工事名
4. 請負金額
5. 工 期
6. 事故の概要
7. 被災者の所属、氏名、生年月日、年齢
8. 被災者の雇用年月日
9. 被災者の住所及び本籍
10. 被災者の家族構成及び家族の年齢
11. 事故発生後の応急措置
12. 現認者の氏名及び現認の状況
13. 直接監督者の所見
14. 当日の監督体制及び通常監督体制
15. 本工事における安全管理対策
16. 通常における安全管理対策
17. 今後の対策
18. 関係機関（労働基準監督署、警察署）の所見
19. その他

[記入要領]

6 について診断書を添付し、内容は詳細に記入するとともに事故写真を添付すること。

交通事故の場合は事故証明書を添付すること。

事故現場を見取図に図示すること。

7 について被災者が所属している元請または下請けの業者名を明記すること。

11 について応急措置をとった場合はその事実を記入すること。

13 について必ず記入すること。

14 について図示するとともに当日の監督体制は時間をおって表示すること。

15 について当該工事における安全管理対策を記入すること。

16 について見舞金示談等判明できる範囲で記入すること。

なお、人身事故以外の場合は、7. から 10. までは記入の必要がない。

第8号様式

## 休日・夜間作業届

監督権者	事務所長		副所長		総括監督員	担当課長		主任監督員	担当係長		一般監督員	担当者		現場代理人	
------	------	--	-----	--	-------	------	--	-------	------	--	-------	-----	--	-------	--

平成 年 月 日

休日・夜間作業事項

工事番号 \_\_\_\_\_ 受注者名 \_\_\_\_\_

工事名 \_\_\_\_\_

施工箇所 \_\_\_\_\_

下記の休日・夜間作業をおこなうので届出ます。

記

作 業 年 月 日	平成 年 月 日 ( 曜日)
作 業 時 間	(自) 時 分 (至) 時 分
作 業 内 容	

注1 不要な文字は —— で消すこと。





(様式15-1号)

## 段階確認報告書

所 長		副 所 長		課 長		係 長		担 当 者	
工事番号	第 号			検査日	平成 年 月 日		監督員		
事業名				報告日	平成 年 月 日		現場代理人		
施行箇所									
業者名				請負額	円	工期	平成 年 月 日～平成 年 月 日		
検査位置						検査内容			
検査測定値及び結果表									
測点	測定項目	設計値	実測値	差	規格値	判定	検査位置図		
検査状況及び確認写真									
別添  ・速やかに報告すること									
指示事項等									



第17号様式

監督権者	事務所長		副所長		総括監督員	担当課長		主任監督員	担当係長		一般監督員	担当者	
------	------	--	-----	--	-------	------	--	-------	------	--	-------	-----	--

契約履行期間の延長申請書	
仕様書番号	第 号
工事名	
工期	平成 年 月 日 着工
	平成 年 月 日 完成
希望延長期間	平成 年 月 日までの 日間
期間延長理由	
<p>上記のとおり、契約期間の延長を承諾されたく申請します。</p> <p style="text-align: center;">平成 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">住 所 氏 名</p> <p>〇〇〇〇〇〇事務所長    〇〇〇〇 様</p>	

第18号様式

年 月 日

施工体制台帳

《下請負人に関する事項》

[会社名]		代表者名	
[事業所名]			
建設業の許可	許可業種	許可番号	許可(更新)年月日
	大臣特定 工業業知事一般	第 号	年 月 日
	大臣特定 工業業知事一般	第 号	年 月 日
工事名称及び内容			
	自 年 月 日	至 年 月 日	契約日 年 月 日
建設業の許可	施工に必要な許可業種	許可番号	許可(更新)年月日
大臣特定 工業業知事一般	大臣特定 工業業知事一般	第 号	年 月 日
大臣特定 工業業知事一般	大臣特定 工業業知事一般	第 号	年 月 日
健康保険等の加入状況	健康保険加入の有無	健康保険加入 未加入 適用除外	厚生年金保険加入 未加入 適用除外
		営業所の名称	健康保険 厚生年金保険 雇用保険
発注者及び工事名称	元請契約 下請契約	元請契約	元請契約
		下請契約	下請契約
発注者の監督員名	権限及び意見申出方法	権限及び意見申出方法	権限及び意見申出方法
		権限及び意見申出方法	権限及び意見申出方法
現場代理人名	権限及び意見申出方法	権限及び意見申出方法	権限及び意見申出方法
		権限及び意見申出方法	権限及び意見申出方法
専門技術者名	資格内容	専門技術者名	専門技術者名
		資格内容	資格内容
担当工事内容	担当工事内容	担当工事内容	担当工事内容
		担当工事内容	担当工事内容
外国人建設就労者の従事者の状況(有無)	外国人建設就労者の従事者の状況(有無)	外国人技能実習生の従事者の状況(有無)	外国人技能実習生の従事者の状況(有無)

※施工体制台帳の添付書類(建設業法施行規則第14条の2第2項)

- 発注者として建設業者の請負契約及び作成建設業者と下請負人の下請契約に係る当初契約及び変更契約の契約書面の写し(公共工事以外の建設工事について締結されるものに係るものは、請負代金の額に係る部分を除く)
- 主任技術者又は監理技術者が主任技術者資格又は監理技術者資格を有する書面及び当該主任技術者又は監理技術者が作成建設業者に雇用期間を特定して任用されている者であることを証する書面又はこれらの写し
- 専門技術者又は監理技術者が主任技術者資格を有することなく任用されている者であることを証する書面及びその者が作成建設業者に雇用期間を特定することなく任用されている者であることを証する書面又はこれらの写し

外国人建設就労者が従事する場合は、「外国人建設就労者建設現場入場届出書」を添付

## 外国人建設就労者建設現場入場届出書

事務所長 様

平成 年 月 日  
(受入建設企業の名称)  
(責任者の職・氏名)

外国人建設就労者の建設現場への入場について下記のとおり届出ます。

## 記

## 1 建設工事に関する事項

建設工事の名称	
施工場所	

## 2 建設現場への入場を届け出る外国人建設就労者に関する事項

※ 4名以上の入場を申請する場合、必要に応じて欄の追加や別紙とする等対応すること。

	外国人建設就労者 1	外国人建設就労者 2	外国人建設就労者 3
氏名			
生年月日			
性別			
国籍			
従事させる業務			
現場入場の期間			
在留期間満了日			

## 3 受入建設企業・適正監理計画に関する事項

適正監理計画認定番号			
受入建設企業の所在地			
元請企業との関係 (直近上位の企業名その他)			
責任者	役職	氏名	
管理指導員	役職	氏名	
就労場所			
従事させる業務の内容			
従事させる期間(計画期間)			

## ○添付書類

提出にあたっては下記に該当するものの写し各1部を添付すること

- 1 適正監理計画認定証
- 2 パスポート(国籍、氏名等と在留許可のある部分)
- 3 在留カード又は外国人登録証明書
- 4 受入建設企業と外国人建設就労者との間の雇用契約書及び雇用条件書(労働条件通知書)

第19-1号様式

施工計画書添付用  
施工体系図 (工事作業所災害防止協議会)

発注者名	26年 4月 10日
工事名称	公共工事
期	自 26年 4月 10日
	至 26年 10月 20日

元請者名	(株)〇〇建設
監督者名	〇〇 〇〇
監理技術者	〇〇 〇〇
専門技術者名	〇〇 〇〇
担当工事内容	〇〇 工
専門技術者名	〇〇 〇〇
担当工事内容	〇〇 工
専門技術者名	〇〇 〇〇
担当工事内容	〇〇 工

会 長	〇〇 〇〇
副会長	〇〇 〇〇
書記	〇〇 〇〇

1次下請 (建設業) 合計	1,730,000
---------------	-----------

下請区分	1次下請(建設業)
会社名	〇〇組
建設業許可番号	1234
住 所	〇〇市〇〇町〇〇123
安全衛生責任者	〇〇 〇〇
主任技術者	〇〇 〇〇
専門技術者	〇〇 〇〇
担当工事内容	〇〇工
工事内容	〇〇工
工期	26年5月1日～26年7月10日
請負金額	1,230,000

下請区分	1次下請(建設業以外)
会社名	〇〇運輸
建設業許可番号	
住 所	〇〇市〇〇町〇〇333
安全衛生責任者	〇〇 〇〇
主任技術者	〇〇 〇〇
専門技術者	〇〇 〇〇
担当工事内容	〇〇土砂運搬工
工事内容	〇〇土砂運搬
工期	26年5月1日～26年7月10日
請負金額	300,000

下請区分	1次下請(建設業)
会社名	〇〇土木
建設業許可番号	7777
住 所	〇〇市〇〇町〇〇777
安全衛生責任者	〇〇 〇〇
主任技術者	〇〇 〇〇
専門技術者	〇〇 〇〇
担当工事内容	型枠工
工事内容	〇〇工
工期	26年5月20日～26年7月20日
請負金額	500,000

下請区分	
会社名	
建設業許可番号	
住 所	
安全衛生責任者	
主任技術者	
専門技術者	
担当工事内容	
工事内容	
工期	
請負金額	

下請区分	2次下請(建設業)
会社名	△△△△△
建設業許可番号	3456
住 所	△△市△△町△△345
安全衛生責任者	△△ △△
主任技術者	△△ △△
専門技術者	△△ △△
担当工事内容	△△工
工事内容	〇〇工
工期	26年5月10日～26年6月20日
請負金額	555,000

下請区分	
会社名	
建設業許可番号	
住 所	
安全衛生責任者	
主任技術者	
専門技術者	
担当工事内容	
工事内容	
工期	
請負金額	

下請区分	
会社名	
建設業許可番号	
住 所	
安全衛生責任者	
主任技術者	
専門技術者	
担当工事内容	
工事内容	
工期	
請負金額	

下請区分	
会社名	
建設業許可番号	
住 所	
安全衛生責任者	
主任技術者	
専門技術者	
担当工事内容	
工事内容	
工期	
請負金額	

下請区分	
会社名	
建設業許可番号	
住 所	
安全衛生責任者	
主任技術者	
専門技術者	
担当工事内容	
工事内容	
工期	
請負金額	

下請区分	
会社名	
建設業許可番号	
住 所	
安全衛生責任者	
主任技術者	
専門技術者	
担当工事内容	
工事内容	
工期	
請負金額	

下請区分	
会社名	
建設業許可番号	
住 所	
安全衛生責任者	
主任技術者	
専門技術者	
担当工事内容	
工事内容	
工期	
請負金額	

下請区分	
会社名	
建設業許可番号	
住 所	
安全衛生責任者	
主任技術者	
専門技術者	
担当工事内容	
工事内容	
工期	
請負金額	

下請区分	
会社名	
建設業許可番号	
住 所	
安全衛生責任者	
主任技術者	
専門技術者	
担当工事内容	
工事内容	
工期	
請負金額	

下請区分	
会社名	
建設業許可番号	
住 所	
安全衛生責任者	
主任技術者	
専門技術者	
担当工事内容	
工事内容	
工期	
請負金額	

下請区分	
会社名	
建設業許可番号	
住 所	
安全衛生責任者	
主任技術者	
専門技術者	
担当工事内容	
工事内容	
工期	
請負金額	

下請区分	
会社名	
建設業許可番号	
住 所	
安全衛生責任者	
主任技術者	
専門技術者	
担当工事内容	
工事内容	
工期	
請負金額	

\*本様式は、施工計画書添付に使用する。なお、記載内容に変更があった場合には、速やかに内容を修正し提出すること。





現場代理人・主任技術者・監理技術者届

平成 年 月 日

様

受注者 住所

氏名

印

発注年度	平成 年度
案件番号	
工事番号	第 号
工 事 名	
工事場所	
工 期	平成 年 月 日 ~ 年 月 日
契約金額	税込 円
受注者の許可番号	( - )
下請予定金額	

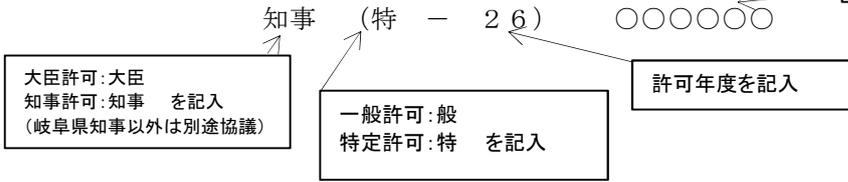
上記工事に配置する現場代理人及び技術者を以下のとおり定めましたので別紙経歴書を添えて通知します。

現場代理人	フリガナ氏名		生年月日	年 月 日
技術者 1			補足欄	
氏 名		生年月日	年 月 日	
技術者の従事期間 (工期と同じ場合記入不要)	平成 年 月 日 ~	年 月 日		
技術者 2			補足欄	
フリガナ氏名		生年月日	年 月 日	
技術者の従事期間 (工期と同じ場合記入不要)	平成 年 月 日 ~	年 月 日		
技術者 3			補足欄	
氏 名		生年月日	年 月 日	
技術者の従事期間 (工期と同じ場合記入不要)	平成 年 月 日 ~	年 月 日		
技術者 4			補足欄	
氏 名		生年月日	年 月 日	
技術者の従事期間 (工期と同じ場合記入不要)	平成 年 月 日 ~	年 月 日		

**【記載事項】**

案件番号： 17桁の番号を記入  
 工事番号： 工事の仕様書番号を記入  
 請負者の許可番号： 建設業許可番号を記載

建設業許可業者の  
固有番号を記入  
(6桁以下)



下請予定額： 4, 0 0 0 万円以上又は 4, 0 0 0 万円未満 を記入

監理技術者・主任技術者を記入		建設業法第26条における 専任・非専任を記入		「現場代理人」:現場代理人の兼任 「追加配置技術者」:低入札時の追加配置 を記入 JV工事においては所属会社を記入	
技術者 1			補足欄		
氏名		生年月日	昭和	年	月 日
技術者の従事期間 (工期と同じ場合記入不要)	平成	年	月 日	～	年 月 日

設計図書及び協議により該当工事  
と従事期間に相違がある場合のみ記入

**【添付書類】**

- 現場代理人・技術者の経歴書  
記入必要項目
  - ・氏名及び生年月日
  - ・受注者への雇用年月日及び現在の雇用状況
  - ・主な主務経験の記載
  - ・共通仕様書（1-1-46 主任技術者及び監理技術者）に該当する項目
- 現場代理人及び技術者の変更および追加の場合
  - ・変更および追加の理由書（任意様式）

第25号様式

# 出来形届書

仕様書番号				
工事名				
工事場所		郡	町	
		市	村	地内
請負金額				
着工年月日	平成	年	月	日
完成期限	平成	年	月	日
工事出来形月日	平成	年	月	日現在
工事出来形率				%

上記のとおり出来形届書をお届けします。

平成 年 月 日

受注者住所

氏名

印

様





## 様式一覽表

様式番号	品名	様式番号	品名
1	測定結果総括表		アスファルト合材配合設定結果報告書
2	測定結果一覽表		目次
3	出来形管理図表		アスファルト試験成績一覽表
4	出来形・品質管理図(工程能力図)		アスファルト粘度温度表
5	度数表		骨材の推定変動範囲
6	アスファルト混合物の敷均時の温度測定		骨材比重による骨材配合比補正表
7	塗膜厚測定管理表		骨材配合率及び合成粒度(室内試験)
8	コンクリート中の塩分測定表		合成粒度曲線(室内試験)
	土質試験結果一覽表		試験配合表
	土の含水比試験(JIS A 1203)		理論最大密度
	土粒子の密度試験(JIS A 1202)		マーシャル試験結果(1)(2)
	土の粒土試験(I)~(III)(JIS A 1204)		試験結果図表
	土の液性限界、塑性限界試験(JIS A 1205)		マーシャル試験によるアスファルト量の許容範囲及び基準アスファルト量
	土の突固め試験(I)(II)(JIS A 1210)		基準密度試験
	CBR試験(I)~(IV)(JIS A 1211)		プラント試験練りによる決定配合
	土の直接せん断試験(I)(II)		決定配合粒度分布図
	三軸圧縮試験		決定配合プラント練りのマーシャル試験値
	土の一軸圧縮試験(I)(II)(JIS A 1216)		アスファルト抽出試験
	土の圧密試験(I)~(VII)(JIS A 1217)		フィーダ、ホッパー、ミキサの骨材の粒度試験
	土の透水試験(JIS A 1218)		アスファルト・骨材ならびにアスファルト混合物の加熱温度測定
	コーン指数測定試験		細骨材の表面水率試験(JIS A 1111)
	セメント安定処理試験		まだ固まらないコンクリートの洗い分析試験(JIS A 1112)
	現場密度測定試験(置換法)(JIS A 1214)		ミキサで練り混ぜたコンクリート中のモルタルの差及び粗骨材の差の試験(JIS A 1119)
	現場密度測定試験(モールド円筒法)		コンクリート圧縮強さ試験(JIS A 1108)
	道路の平板載荷試験(JIS A 1215)		コンクリート曲げ強さ試験(JIS A 1106)
	プルフローリング試験		コンクリート配合試験成果表(I)~(III)
	細骨材の比重及び吸水率試験(JIS A 1109)		X-R管理データシート
	粗骨材の比重及び吸水率試験(JIS A 1110)		X-R管理図
	骨材の単位容積重量試験(JIS A 1104)		X-Rs-Rm管理データシート
	粗骨材のスリヘリ試験(ロサンゼルス)(JIS A 1121)		X-Rs-Rm管理図
	骨材の安定性試験(JIS A 1122)		路面の平坦性試験
	骨材の洗い試験(JIS A 1103)		切取供試体試験
	砂の有機不純物試験(JIS A 1105)		ハイテンボルト締付管理図
	粗骨材中の軟石量試験(JIS A 1126)		現場キャリブレーション成績表(1)(2)
	骨材のフルイ分試験(JIS A 1102)		グースアスファルト混合物の貫入試験
	骨材試験成績一覽表		グースアスファルト混合物のリユエル流動性試験
	路盤材料のフルイ分試験		ホイールトラッキング試験
	粗骨材試験成績一覽表(碎石)		曲げ試験
	細骨材試験成績一覽表(砂)		
	石粉及びスクリーニングス試験成績一覽表		
	骨材粒度曲線表(アスファルト)		

※ 一部様式のみ掲載。他の様式はJIS等による。

様式-1

測定結果総括表

工種 \_\_\_\_\_  
種別 \_\_\_\_\_

測定項目															
規格値															
	設計値	実測値	差												
平均値															
最大値															
最小値															
最多値															
デー多数															
標準偏差															

測定項目															
規格値															
	設計値	実測値	差												
平均値															
最大値															
最小値															
最多値															
デー多数															
標準偏差															

測定項目															
規格値															
	設計値	実測値	差												
平均値															
最大値															
最小値															
最多値															
デー多数															
標準偏差															



様式-3

出来形・品質管理図表

工種 \_\_\_\_\_  
種別 \_\_\_\_\_

測定者 \_\_\_\_\_ 印

測 点	
設 計 値 と の 差	

測定項目				測定項目				測定項目				測定項目			
規格値															
測点又は区別	設計値	実測値	差												
平均値				平均値				平均値				平均値			
最大値				最大値				最大値				最大値			
最小値				最小値				最小値				最小値			
最多値				最多値				最多値				最多値			
データ数				データ数				データ数				データ数			
標準偏差				標準偏差				標準偏差				標準偏差			

様式-4

出来形・品質管理図(工程能力図)

工種 \_\_\_\_\_  
種別 \_\_\_\_\_

測定者 \_\_\_\_\_ 印

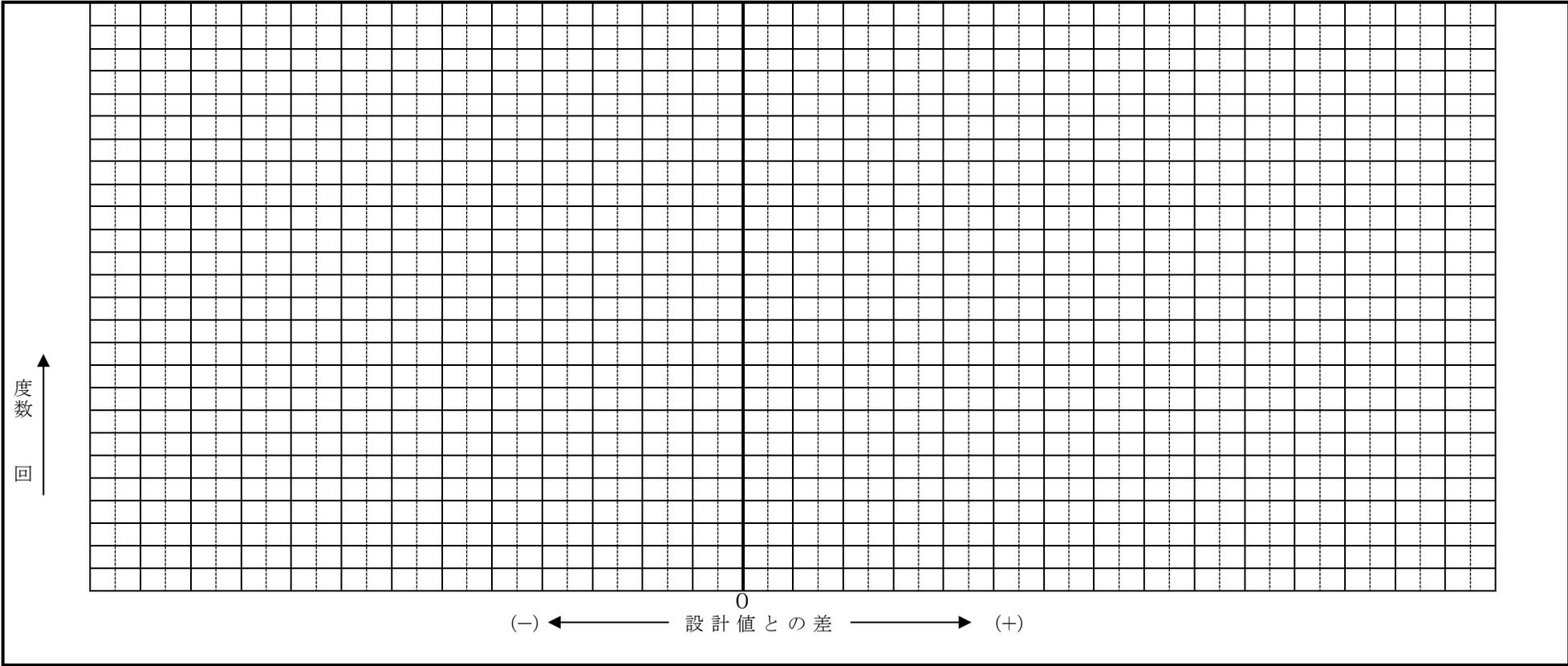
測定項目 規格値	測 点	
	設計値との差	

注) 不要な文字は——で消すこと。

様式-5

工 度 数 表

測 定 者 \_\_\_\_\_



工検様式5号

## 検査結果指示書

平成 年 月 日

受注者様

検査員 氏名 印

平成 年 月 日検査の結果、下記のとおり指示します。

工事番号	第 号		
工事名	工事		
工事場所	市 郡	町 村	大字 地内
工期	自 平成 年 月 日	請負金額	円
	至 平成 年 月 日		
受注者側 立会人氏名		発注者側 立会人氏名	
指示内容			
修補期限	平成 年 月 日		

工事所管機関の長様

上記のとおり受注者に指示したので、完了確認検査をお願いします。

なお、確認検査後は、別添「軽微な修補完了確認報告書」により報告願います。

工検様式6号

第 号  
平成 年 月 日

検査権者様

工事所管機関の長

## 軽微な修補完了確認報告書

このことについて、下記のとおり確認しました。

### 記

- 1 工事番号 第 号
- 2 工事名 工事
- 3 工事場所 市 町 大字  
郡 村
- 4 受注者名
- 5 修補期限 平成 年 月 日
- 6 修補完了年月日 平成 年 月 日
- 7 修補検査年月日 平成 年 月 日
- 8 確認検査者名

(注) 修補前後の写真を添付のこと

工検様式7号

## 修 補 改 造 命 令 書

工事番号	第 号
工事名	工事
工事場所	市 町 大字 地内 郡 村
修補改善事項	
修補改造期限	平成 年 月 日
<p>上記のとおり修補改造を命じる。</p> <p>平成 年 月 日</p> <p style="text-align: right;">検査権者 印</p> <p>受注者様</p>	

- (注) 1 修補改造工事が完了したときは、修補改造完了届（工検様式8号）を提出し、検査を受けること  
 2 修補改造完了届には工事写真（修補前、破壊後、修補中、同完成）を添付すること

工検様式8号

# 修 補 改 造 完 了 届

平成 年 月 日

工事所管機関の長 様

受注者 住所  
氏名

このことについて、修補改造を完了しました。

記

- |   |                   |            |    |
|---|-------------------|------------|----|
| 1 | 工 事 番 号           | 第 号        |    |
| 2 | 工 事 名             |            | 工事 |
| 3 | 工 事 場 所           | 市 町<br>郡 村 | 大字 |
| 4 | 請 負 金 額           |            | 円  |
| 5 | 修 補 改 造 期 限       | 平成 年 月 日   |    |
| 6 | 修 補 改 造 完 了 年 月 日 | 平成 年 月 日   |    |
| 7 | 修 補 改 造 の 内 容     |            |    |



## ◎ 提案項目

### ■ 施工関係

- 施工に伴う器具・工具・装置等に関する工夫、又は設備据付後の試運転調整に関する工夫
- コンクリート二次製品などの代替材の利用に関する工夫
- 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工に関する工夫
- 部材並びに機材等の運搬及び吊り方式などの施工方法に関する工夫
- 設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線、配管等に関する工夫
- 給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関する工夫
- 照明などの視界の確保に関する工夫
- 仮排水、仮道路、迂回路等の計画的な施工に関する工夫
- 運搬車両、施工機械等に関する工夫
- 支保工、型枠工、足場工、仮架橋、覆工板、山留め等の仮設工に関する工夫
- 盛土の締固度、杭の施工高さ等の管理に関する工夫
- 施工計画書の作成、写真の管理等に関する工夫
- 出来形又は品質の計測、集計、管理図等に関する工夫
- 施工管理ソフト、土量管理システム等の活用に関する工夫
- ICT(情報通信技術)を活用した情報化施工を取り入れた工事
- 特殊な工法や材料を用いた工事
- 優れた技術力又は能力として評価する技術を用いた工事

### ■ 品質関係

- 土工、設備、電気の品質向上に関する工夫
- コンクリートの材料、打設、養生に関する工夫
- 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料に関する工夫
- 配筋、溶接作業等に関する工夫

### ■ 安全衛生関係

- 建設業労働災害防止協会が定める指針に基づく安全衛生教育を実施している
- 安全を確保するための仮設備等に関する工夫（落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等）
- 安全教育、技術向上講習会、安全パトロール等に関する工夫
- 現場事務所、労働者宿舎等の空間及び設備等に関する工夫
- 有毒ガス並びに可燃ガスの処理及び粉塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫
- 一般車両突入時の被害軽減方策又は一般交通の安全確保に関する工夫
- 厳しい作業環境の改善に関する工夫
- 環境保全に関する工夫

### ■ その他

- その他（ ）











## 様式第1号

平成 年 月 日			
_____様 請負者 住 所 氏 名			
印 ○			
建設業退職金共済組合証紙購入状況報告書			
建設業退職金共済組合の掛金収納書の提出について下記のとおりお届けします。			
工 事 件 名			
工 事 場 所			
契 約 年 月 日	年 月 日	完 成 年 月 日	年 月 日
請 負 金 額	円		
共済証紙購入額	円		
裏面を参考に記入してください。			
掛金収入書添付欄（提出できない場合は理由を記載すること）			

(注) 本報告書は、工事契約締結後、1ヶ月以内に必ず注文者に提出し確認を受ける。

## 別記第1号様式 (第3条関係)

年 月 日				
岐阜県知事 様				
請負者 住所 氏名				
⑩				
前 払 金 請 求 書				
¥ _____				
ただし、工事名 工事場所				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">請 負 金 額</td> <td style="width: 50%; text-align: right; padding: 5px;">円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">上記請負金額の10分の 以内の額</td> <td style="text-align: right; padding: 5px;">円</td> </tr> </table>	請 負 金 額	円	上記請負金額の10分の 以内の額	円
請 負 金 額	円			
上記請負金額の10分の 以内の額	円			
<p>上記のとおり請負金額の前払いをされるよう保証証書を添え請求します。 なお、前払金は、下記銀行にある私名義の預金口座に振り替えられるようお願いいたします。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">振 替 先 銀 行</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;">預 金 種 別</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">銀行 店</td> <td style="padding: 5px;">(別口) 普 通 預 金</td> </tr> </table>	振 替 先 銀 行	預 金 種 別	銀行 店	(別口) 普 通 預 金
振 替 先 銀 行	預 金 種 別			
銀行 店	(別口) 普 通 預 金			

備考1 振替先銀行は、保証事業会社が業務委託契約を締結した銀行でかつ県の支払金について口座振替のできる銀行でなければならない。

2 第8条の規定を適用して前金払をするときは、上記様式中「上記請負金額の10分の以内の額」欄を適宜修正の上用いること。

別記第2号様式 (第4条関係)

年 月 日

岐阜県知事 様

請負者

住所

氏名

印

中間前払金認定請求書

年 月 日付けで契約締結した下記の工事について、工事請負契約書第〇〇条第〇項の規定に基づき中間前払金の請求をしたいので、要件を具備していることを認定されるよう請求します。

工 事 名	
工 事 場 所	
工 期	自 年 月 日 至 年 月 日
請負代金額	円
摘 要	

## 別記第3号様式（第4条関係）

## 中間前払金認定調書

契約の相手方	住所	
	氏名	
工事名		
工事場所		
工期	自 年 月 日 至 年 月 日	
請負代金額		円
摘要		
<p>上記の工事について、その進捗を調査したところ、工事請負契約書第〇〇条第〇項に規定する中間前払金をすることができる要件を具備していることを認定する。</p> <p>年 月 日</p> <p>認定者職氏名</p>		

- 備考 1 2部作成し、1部を認定請求者に交付し1部を控えとすること。
- 2 摘要欄には、第2条第2項各号に掲げる要件を満たしている状況を、工期の経過、工程の進捗よく及び出来形の別に記載すること。
- 3 認定者の氏名欄は、署名又は記名押印すること。

様式1 再生資源利用計画書(実施書) 一建設資材搬入工事用一

1. 工事概要

発注機関名	発注機関コード	発注担当者	発注担当者エレクトロニック	請負会社名	加配田様コード*2	記入年月日	年	月	日
〒 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇	〒 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇	〒 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
市 区	町 村	TEL		TEL					
都 道 府 県				FAX					

表面

工事名	請負金額	千円	十	万	円	未満	四捨五入	千円	十	万	円	未満	四捨五入
〇〇〇	〇〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
工事施工場所	1万円未満四捨五入	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇〇	〇,000円	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
工事概要等	再資源化等が完了した年月日	年	月	日	年	月	日	年	月	日	年	月	日
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇

2. 建設資材利用計画

注:コード\*5~9は上記欄外のコード表より数字を選んでください。左記のうち、再生資材の利用状況

分類	小分類	規格	主な利用用途	利用重(A)	建設資材 (新材を含む)	再生資材の供給元施設、工事等の名称	再生資材の供給元施設住所※	再生資材の名称	再生資材利用重(B)	再生資源利用率
	コード*5			トン	コード*6		住所コード*4	コード*9	トン	B/A×100
コンクリート				トン					トン	%
特定				トン					トン	%
建築				トン					トン	%
土木				トン					トン	%
建設資材				トン					トン	%
アスファルト				トン					トン	%
混合物				トン					トン	%
土砂				トン					トン	%
砕石				トン					トン	%
その他				トン					トン	%
建設資材				トン					トン	%
コンクリート				トン					トン	%
特定				トン					トン	%
建築				トン					トン	%
土木				トン					トン	%
建設資材				トン					トン	%
アスファルト				トン					トン	%
混合物				トン					トン	%
土砂				トン					トン	%
砕石				トン					トン	%
その他				トン					トン	%
建設資材				トン					トン	%

注:再生資材利用量について  
アスファルト混合物等、利用した再生資材(製品)の中で、新材が混入している場合であっても、新材混入分を含んだ再生資材(製品)の利用量を記入してください。

表面にもご記入ください

コード\*5について

1.生コン(新骨材)  
2.再生生コン(Co再生骨材)  
3.再生生コン(再生生コン)  
4.再生生コン(再生生コン)  
5.再生生コン(再生生コン)  
6.再生生コン(再生生コン)  
7.再生生コン(再生生コン)  
8.その他

コード\*6について

1.アスファルト混合物  
2.アスファルト混合物  
3.アスファルト混合物  
4.アスファルト混合物  
5.アスファルト混合物  
6.アスファルト混合物  
7.アスファルト混合物  
8.その他

コード\*7について

1.現場内用  
2.現場外用  
3.現場内用  
4.現場外用  
5.現場内用  
6.現場外用  
7.現場内用  
8.その他

コード\*8について

1.再生資材の利用  
2.再生資材の利用  
3.再生資材の利用  
4.再生資材の利用  
5.再生資材の利用  
6.再生資材の利用  
7.再生資材の利用  
8.その他

コード\*9について

1.再生資材(再生資材)  
2.再生資材(再生資材)  
3.再生資材(再生資材)  
4.再生資材(再生資材)  
5.再生資材(再生資材)  
6.再生資材(再生資材)  
7.再生資材(再生資材)  
8.その他



# マニフェスト管理 index

作成・更新について (以下  部分について記入してください)

作成・更新日  (今日は 2015/2/12 です)

## 工事の概要

年度	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 80%; height: 15px;"></span>		
工事番号	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 95%; height: 15px;"></span>		
工事名	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 95%; height: 15px;"></span>		
施工場所	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 95%; height: 15px;"></span>		
工期	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 60%; height: 15px;"></span>	~	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 30%; height: 15px;"></span>
請負金額(円)	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 95%; height: 15px;"></span>		
請負業者名	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 95%; height: 15px;"></span>		
現場代理人	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 95%; height: 15px;"></span>		
一般監督員	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 95%; height: 15px;"></span>		
主任監督員	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 95%; height: 15px;"></span>		
総括監督員	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 95%; height: 15px;"></span>		

## 品目(契約)の登録

中間処理業者との1契約ごとに薄緑枠内に記入

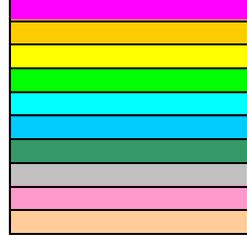
整理番号	処理委託品目
1	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 95%; height: 15px;"></span>
2	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 95%; height: 15px;"></span>
3	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 95%; height: 15px;"></span>
4	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 95%; height: 15px;"></span>
5	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 95%; height: 15px;"></span>
6	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 95%; height: 15px;"></span>
7	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 95%; height: 15px;"></span>
8	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 95%; height: 15px;"></span>
9	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 95%; height: 15px;"></span>
10	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 95%; height: 15px;"></span>

## リンク(登録画面等)

集計、印刷画面へ

**集 計 表**

マニフェスト登録画面へ



## 工事の概要

作成・更新日

年度	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 80%; height: 15px;"></span>	工事番号	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 80%; height: 15px;"></span>	施工場所	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 95%; height: 15px;"></span>
工事名	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 95%; height: 15px;"></span>				
工期	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 60%; height: 15px;"></span>	~	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 30%; height: 15px;"></span>	請負業者名	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 95%; height: 15px;"></span>
一般監督員	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 95%; height: 15px;"></span>		請負金額(円)	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 95%; height: 15px;"></span>	
主任監督員	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 95%; height: 15px;"></span>		現場代理人	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 95%; height: 15px;"></span>	
総括監督員	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 95%; height: 15px;"></span>		主任監督員	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 95%; height: 15px;"></span>	
	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 95%; height: 15px;"></span>		総括監督員	<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 95%; height: 15px;"></span>	

## マニフェスト集計

今日の日付: H27.2.12

品 名	総枚数	総処理量		処理委託業者名	契約年月日	D 票				E 票				
		t	m3			最終期限日	確認済数	注意枚数	請求枚数	最終期限日	確認済数	注意枚数	請求枚数	
合計					—									
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														

契約書データ（中間処理業者との1契約ごとに薄緑枠内に記入）

契約書 整理番号	処理委託業者名	契約年月日	処理委託品目
1			
運搬業者名	1		
	2		
	3		

「注意」とはA票発行後、D票で70日、E票で180日経過したものをいう。  
 「請求」とはA票発行後、D票で90日、E票で180日経過したものをいう。

マニフェストデータ

整理 番号	運搬 業者 番号	マニフェスト 交付番号	数量		マニフェスト交付年月日または照合確認日					処理期限日				
			t	m3	A票	B1票	B2票	D票	E票	D票		E票		
										注意	請求	注意	請求	
計														
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														
21														
22														
23														
24														
25														
26														
27														
28														
29														
30														
31														
32														
33														
34														
35														
36														
37														
38														
39														
40														
41														
42														
43														
44														
45														
46														
47														
48														
49														
50														
51														
52														
53														
54														
55														
56														
57														
58														
59														
60														
61														
62														
63														
64														
65														
66														
67														
68														
69														
70														
71														
72														
73														
74														
75														
76														
77														
78														
79														
80														

第2節 その他参考

建設工事の例示及び建設業の許可並びに主任技術者の資格一覧表

建設工事の例示（建設省告示第350号）	建設業の許可	業許可に係る主任技術者の資格（指定学科については、最終頁に掲載）
（建設工事の内容） ◇総合的な企画、指導、調整のもとに土木工作物を建設する工事（補修、改造又は解体する工事を含む。）	土木工事業	<input type="checkbox"/> 高校（指定学科）卒業後、5年以上の実務経験 <input type="checkbox"/> 高等、大学（指定学科）卒業後、3年間の実務経験 <input type="checkbox"/> 10年以上の実務経験 <input type="checkbox"/> 1級又は2級建設機械施工技士 <input type="checkbox"/> 1級土木施工管理技士又は2級土木施工管理技士（土木） <input type="checkbox"/> 技術士（建設部門・農業部門・選択科目「農業土木」、森林部門・選択科目「森林土木」、水産部門・選択科目「水産土木」） <input type="checkbox"/> 技術士（総合技術監理部門・選択科目「建設部門」、「農業土木」、「森林土木」、「水産土木」）
（建設工事の内容） ◇総合的な企画、指導、調整のもとに建築物を建設する工事（補修、改造又は解体する工事を含む。）	建築工事業	<input type="checkbox"/> 高校（指定学科）卒業後、5年以上の実務経験 <input type="checkbox"/> 高等、大学（指定学科）卒業後、3年間の実務経験 <input type="checkbox"/> 10年以上の実務経験 <input type="checkbox"/> 1級建築施工管理技士又は2級建築施工管理技士（建築） <input type="checkbox"/> 1級又は2級建築士
◇大工工事 ◇型枠工事 ※1 ◇造作工事	大工工事業	<input type="checkbox"/> 高校（指定学科）卒業後、5年以上の実務経験 <input type="checkbox"/> 高等、大学（指定学科）卒業後、3年間の実務経験 <input type="checkbox"/> 10年以上の実務経験 <input type="checkbox"/> 1級建築施工管理技士又は2級建築施工管理技士（躯体又は仕上げ） <input type="checkbox"/> 1級又は2級建築士若しくは木造建築士 <input type="checkbox"/> 技能検定1級の建築大工若しくは2級の建築大工に合格後大工工事に関し3年以上の実務経験者 <input type="checkbox"/> 建築工事業及び大工工事業に係る建設工事に関し12年以上の実務経験を有する者のうち、大工工事業に係る建設工事に関し8年を超える実務経験を有する者 <input type="checkbox"/> 大工工事業及び内装仕上工事業に係る建設工事に関し、12年以上の実務経験を有する者のうち大工工事業に係る建設工事に関し8年を超える実務経験を有する者
◇とび工事 ◇ひき工事 ◇足場等仮設工事 ◇重量物の揚重運搬配置工事 ◇鉄骨組立工事 ◇コンクリートブロック据付工事 ◇工作物解体工事 ◇くい工事 ◇くい打ち工事 ◇くい抜き工事 ◇場所打ちくい工事 ◇土工事 ◇掘削工事 ◇根切り工事 ◇発破工事 ◇盛土工事 ◇コンクリート工事 ◇コンクリート打設工事 ※1 ◇コンクリート圧送工事 ◇プレストレストコンクリート工事 ◇地すべり防止工事 ◇地盤改良工事 ◇ボーリンググラウト工事 ◇土留め工事 ◇仮締切工事 ◇吹付け工事 ◇道路付属物設置工事 ◇捨石工事 ◇外構工事 ◇はつり工事	とび・土工事業	<input type="checkbox"/> 高校（指定学科）卒業後、5年以上の実務経験 <input type="checkbox"/> 高等、大学（指定学科）卒業後、3年間の実務経験 <input type="checkbox"/> 10年以上の実務経験 <input type="checkbox"/> 1級又は2級建設機械施工技士 <input type="checkbox"/> 1級土木施工管理又は2級土木施工管理技士（土木又は薬液注入） <input type="checkbox"/> 1級建築施工管理技士又は2級の建築施工管理技士（躯体） <input type="checkbox"/> 技術士（建設部門・農業部門・選択科目「農業土木」、森林部門・選択科目「森林土木」、水産部門・選択科目「水産土木」） <input type="checkbox"/> 1級のとび、型枠施工、リフト圧送施工、ウエルポイント施工の技能検定合格者 <input type="checkbox"/> 2級のとび、コンクリート圧送施工、ウエルポイント施工の技能検定に合格後、3年以上実務経験を有する者 <input type="checkbox"/> 地すべり防止工事士資格認定試験合格者で地すべり防止工事士として登録後1年以上の実務経験を要する者 <input type="checkbox"/> 土工事業及びとび・土工事業に係る建設工事に関し、12年以上の実務経験を有する者のうち、とび・土工事業に係る8年を超える実務経験を有する者
◇左官工事 ◇モルタル工事 ◇モルタル防水工事 ◇吹付け工事 ◇とぎ出し工事 ◇洗い出し工事	左官工事業	<input type="checkbox"/> 高校（指定学科）卒業後、5年以上の実務経験 <input type="checkbox"/> 高等、大学（指定学科）卒業後、3年間の実務経験 <input type="checkbox"/> 10年以上の実務経験 <input type="checkbox"/> 1級建築施工管理技士又は2級建築施工管理技士（仕上げ） <input type="checkbox"/> 技能検定1級の左官若しくは2級の左官に合格後左官工事に関し3年以上の実務経験者
◇石積（張）工事 ◇コンクリートブロック積（張）工事	石工事業	<input type="checkbox"/> 高校（指定学科）卒業後、5年以上の実務経験 <input type="checkbox"/> 高等、大学（指定学科）卒業後、3年間の実務経験 <input type="checkbox"/> 10年以上の実務経験 <input type="checkbox"/> 1級土木施工管理技士又は2級土木施工管理技士（土木） <input type="checkbox"/> 1級建築施工管理技士又は2級の建築施工管理技士（仕上げ） <input type="checkbox"/> 技能検定1級のブロック建築石材施工もしくは検定職種をコンクリート積みブロック施工とするものに合格した者 <input type="checkbox"/> 技能検定2級のブロック建築石材施工に合格後石工事にし3年以上の実務経験を有する者
◇冷暖房設備工事 ◇冷凍冷蔵設備工事 ◇空気調和設備工事 ◇給排水・給湯設備工事 ◇厨房設備工事 ◇衛生設備工事 ◇浄化槽設備工事 ◇水洗便所設備工事 ◇ガス配管工事 ◇ダクト工事 ◇管内更正工事	管工事業	<input type="checkbox"/> 高校（指定学科）卒業後、5年以上の実務経験 <input type="checkbox"/> 高等、大学（指定学科）卒業後、3年間の実務経験 <input type="checkbox"/> 10年以上の実務経験 <input type="checkbox"/> 1級又は2級管工事施工管理技士 <input type="checkbox"/> 技術士（機械部門・選択科目「流体工学」若しくは「熱工学」、上下水道部門、衛生工部門） <input type="checkbox"/> 技術士（総合技術監理部門・選択科目「流体工学」若しくは「熱工学」、上下水道部門、衛生工部門） <input type="checkbox"/> 技能検定1級の冷凍空気調和機器施工、配管・選択科目「建築配管作業」、に合格した者 <input type="checkbox"/> 技能検定2級の冷凍空気調和機器施工、配管、合格後管工事に関し3年以上の実務経験を有する者 <input type="checkbox"/> 建築士法第20条第3項に規定する建築設備に関する知識及び技能につき、国土交通大臣が定める資格を有することとなった後、1年以上の実務経験を有する者 <input type="checkbox"/> 給水装置工事主任技術者免状の交付を受けた後管工事に関し1年以上の実務経験を有する者 <input type="checkbox"/> 1級計装士審査に合格後管工事に関し1年以上の実務経験を有する者
◇鉄骨工事 ◇橋梁工事 ◇鉄塔工事 ◇石油・ガスの貯蔵用タンク設置工事 ◇屋外広告塔工事 ◇閘門・水門等の門扉設置工事	鋼構造物工事業	<input type="checkbox"/> 高校（指定学科）卒業後、5年以上の実務経験 <input type="checkbox"/> 高等、大学（指定学科）卒業後、3年間の実務経験 <input type="checkbox"/> 10年以上の実務経験 <input type="checkbox"/> 1級土木施工管理又は2級土木施工管理技士（土木） <input type="checkbox"/> 1級建築施工管理技士又は2級の建築施工管理技士（躯体） <input type="checkbox"/> 1級建築士 <input type="checkbox"/> 技術士（建設部門・選択科目「鋼構造及びコンクリート」） <input type="checkbox"/> 技術士（総合技術監理部門・選択科目「鋼構造及びコンクリート」） <input type="checkbox"/> 技能検定1級の鉄工・選択科目「製缶作業」又は「構造物鉄工作業」に合格した者 <input type="checkbox"/> 技能検定2級の鉄工に合格後鋼構造物に関し3年以上の実務経験を有する者
◇鉄筋加工組立工事 ◇ガス圧接工事	鉄筋工事業	<input type="checkbox"/> 高校（指定学科）卒業後、5年以上の実務経験 <input type="checkbox"/> 高等、大学（指定学科）卒業後、3年間の実務経験 <input type="checkbox"/> 10年以上の実務経験 <input type="checkbox"/> 1級建築施工管理技士又は2級の建築施工管理技士（躯体） <input type="checkbox"/> 技能検定1級の鉄筋組立に合格した者 <input type="checkbox"/> 技能検定1級の鉄筋施工・選択科目「鉄筋施工図作成作業」及び「鉄筋組立作業」に合格した者 <input type="checkbox"/> 技能検定2級の鉄筋施工・選択科目「鉄筋施工図作成作業」及び「鉄筋組立作業」に合格した後鉄筋工事に関し3年以上の実務経験を有する者
◇アスファルト舗装工事 ◇コンクリート舗装工事 ◇ブロック舗装工事 ◇路盤築造工事	舗装工事業	<input type="checkbox"/> 高校（指定学科）卒業後、5年以上の実務経験 <input type="checkbox"/> 高等、大学（指定学科）卒業後、3年間の実務経験 <input type="checkbox"/> 10年以上の実務経験 <input type="checkbox"/> 1級土木施工管理又は2級土木施工管理技士（土木） <input type="checkbox"/> 1級又は2級建設機械施工技士 <input type="checkbox"/> 技術士（建設部門） <input type="checkbox"/> 技術士（総合技術監理部門・選択科目「建設部門」）
◇屋根ふき工事	屋根工事業	<input type="checkbox"/> 高校（指定学科）卒業後、5年以上の実務経験 <input type="checkbox"/> 高等、大学（指定学科）卒業後、3年間の実務経験 <input type="checkbox"/> 10年以上の実務経験 <input type="checkbox"/> 1級建築施工管理技士又は2級建築施工管理技士（仕上げ） <input type="checkbox"/> 1級又は2級建築士 <input type="checkbox"/> 技能検定1級の建築板金、かわらぶき若しくはスレート施工とするものに合格した者 <input type="checkbox"/> 建築板金、かわらぶき若しくはスレート施工とするものに合格した後屋根工事に関し3年以上の実務経験を有する者 <input type="checkbox"/> 建築工事業及び屋根工事業に係る建設工事に関し、12年以上の実務経験を有する者のうち屋根工事業に係る建設工事に関し8年を超える実務経験を有する者



◇取水施設工事 ◇浄水施設工事 ◇配水施設工事 ◇下水処理設備工事	水道施設工事業	□高校（指定学科）卒業後、5年以上の実務経験 □高専、大学（指定学科）卒業後、3年間の実務経験 □10年以上の実務経験 □1級土木施工管理技士又は2級土木施工管理技士（土木） □技術士（上下水道部門、衛生工部門・選択科目「水質管理」又は「廃棄物管理」） □技術士（総合技術監理部門・選択科目「上下水道部門」、「水質管理」又は「廃棄物管理」） □土木工事業及び水道施設工事業に係る建設工事に關し、12年以上の実務経験を有する者のうち水道施設工事業に係る建設工事に關し8年を超える実務経験を有する者
◇室内消火栓設置工事 ◇スプリンクラー設置工事 ◇水噴霧・泡・不燃性ガス・蒸発性液体又は粉末による消火設備工事 ◇室外消火栓設置工事 ◇動力消防ポンプ設置工事 ◇火災報知設備工事 ◇漏電火災警報機設置工事 ◇非常警報設備工事 ◇金属製避難はしご・救急袋・暖降機・避難橋又は排煙設備の設置工事	消防施設工事業	□高校（指定学科）卒業後、5年以上の実務経験 □高専、大学（指定学科）卒業後、3年間の実務経験 □10年以上の実務経験 □消防法による申種消防設備士免状又は乙種消防設備士免状の交付を受けた者
◇ごみ処理施設工事 ◇し尿処理施設工事	清掃施設工事業	□高校（指定学科）卒業後、5年以上の実務経験 □高専、大学（指定学科）卒業後、3年間の実務経験 □10年以上の実務経験 □技術士（衛生工部門・選択科目「廃棄物管理」） □技術士（総合技術監理部門・選択科目「廃棄物管理」）

指定学科	業 種 分 類
土木工学	◇土木工事業 ◇舗装工事業 ◇左官工事業 ◇とび・土工工事業 ◇石工事業 ◇屋根工事業 ◇タイル・れんが・ブロック工事業 ◇塗装工事業 ◇鋼構造物工事業 ◇鉄筋工事業 ◇管工事業 ◇水道施設工事業 ◇清掃施設工事業 ◇浚渫工事業 ◇防水工事業 ◇熱絶縁工事業 ◇造園工事業 ◇さく井工事業
都市工学	◇土木工事業 ◇舗装工事業 ◇建築工事業 ◇大工工事業 ◇ガラス工事業 ◇内装仕上工事業 ◇管工事業 ◇水道工事業 ◇清掃施設工事業 ◇造園工事業
衛生工学	◇土木工事業 ◇舗装工事業 ◇管工事業 ◇水道施設工事業 ◇清掃施設工事業 ◇さく井工事業
交通工学	◇土木工事業 ◇舗装工事業
建築学	◇左官工事業 ◇とび・土工工事業 ◇石工事業 ◇屋根工事業 ◇タイル・れんが・ブロック工事業 ◇塗装工事業 ◇鋼構造物工事業 ◇鉄筋工事業 ◇建築工事業 ◇大工工事業 ◇ガラス工事業 ◇内装仕上工事業 ◇管工事業 ◇水道施設工事業 ◇清掃施設工事業 ◇機械器具工事業 ◇消防施設工事業 ◇熱絶縁工事業 ◇造園工事業 ◇建具工事業 ◇防水工事業
機械工学	◇鋼構造物工事業 ◇鉄筋工事業 ◇機械器具設置工事業 ◇消防施設工事業 ◇さく井工事業 ◇建具工事業 ◇熱絶縁工事業 ◇管工事業 ◇水道施設工事業 ◇
電気工学	◇電気工事業 ◇電気通信工事業 ◇機械器具設置工事業 ◇消防施設工事業
電気通信工学	◇電気工事業 ◇電気通信工事業
林学	◇造園工事業
鉱山学	◇さく井工事業

（注） 土木工学（農業土木、鉱山土木、森林土木、砂防、治山、緑地又は造園に関する学科を含む。）  
 （注） 専門学校は、学校教育法に定める指定学科と認められていません。  
 ※1 とび・土工工事業と異なり、大工工事業の許可で請け負うことができる型枠工事は、木製の型枠工事にかぎります。

建設工事の例示及び建設業の許可並びに監理技術者の資格一覧表

- 建設業法第15条第2号イ  
国土交通大臣が定める試験に合格した者又は免許を受けた者（下表参照）
- 建設業法第15条第2号ロ  
第7条第2号イ、ロ又はハに該当する者のうち、許可を受けようとする建設業に係る建設工事(4,500万円以上)で、発注者から直接請け負い、2年以上指導監督的な実務の経験を有する者
- 建設業法第15条第2号ハ  
国土交通大臣がイ又はロに掲げる者と同等以上の能力を有するものと認定した者（下表参照）  
また、当該認定が有効期間の満了により効力を失った者で、有効期間の満了の日から起算して六月以内に(財)全国建設研修センター、(財)建設業振興基金、(社)日本建設機械化協会が実施する監理技術者講習を受講したもののうち、国土交通大臣が建設業法第15条第2号イと同等以上の能力を有する者と認める者。

○表一建設業法第15条第2号イ又はロの資格一覧

建設工事の例示（建設省告示第350号）	建設業の許可	業許可に係る監理技術者の資格
(建設工事の内容) ◇総合的な企画、指導、調整のもとに土木工作物を建設する工事（補修、改造又は解体する工事を含む。）	土木工事業	●建設業法第15条第2号イ □1級建設機械施工技術士 □1級土木施工管理技術士 □技術士（建設部門、農業部門・選択科目「農業土木」、森林部門・選択科目「森林土木」、水産部門・選択科目「水産土木」） □技術士（総合技術監理部門・選択科目「建設部門」、「農業土木」、「森林土木」、「水産土木」）  ●建設業法第15条第2号ハ 次の全てに該当する者 ・建設業法の一部を改正する法律（S62法律第69号）の施行の際に特定建設業の許可を受けて当該建設業を営んでいた者の専任技術者としてその営業所に置かれていた者又は法施行一年間に当該建設業に係る建設工事に関し監理技術者として
(建設工事の内容) ◇総合的な企画、指導、調整のもとに建築物を建設する工事（補修、改造又は解体する工事を含む。）	建築工事業	●建設業法第15条第2号イ □1級建築施工管理技術士 □1級建築士  ●建設業法第15条第2号ハ 次の全てに該当する者 ・建設業法の一部を改正する法律（S62法律第69号）の施行の際に特定建設業の許可を受けて当該建設業を営んでいた者の専任技術者としてその営業所に置かれていた者又は法施行一年間に当該建設業に係る建設工事に関し監理技術者として
◇大工工事 ◇型枠工事 ◇造作工事	大工工事業	●建設業法第15条第2号イ □1級建築施工管理技術士 □1級建築士
◇とび工事 ◇ひき工事 ◇足場等仮設工事 ◇重量物の搬運運搬配置工事 ◇鉄骨組立工事 ◇コンクリートブロック据付工事 ◇工作物解体工事 ◇くい工事 ◇くい打ち工事 ◇くい抜き工事 ◇場所打ちくい工事 ◇土工事 ◇掘削工事 ◇根切り工事 ◇発破工事 ◇盛土工事 ◇コンクリート工事 ◇コンクリート打設工事 ◇コンクリート圧送工事 ◇プレストレストコンクリート工事 ◇地すべり防止工事 ◇地盤改良工事 ◇ボーリンググラウト工事 ◇土留め工事 ◇仮締切工事 ◇吹付け工事 ◇道路付属物設置工事	とび・土工事業	●建設業法第15条第2号イ □1級建設機械施工技術士 □1級土木施工管理技術士 □1級建築施工管理技術士 □技術士（建設部門、農業部門「農業土木」、森林部門「森林土木」、水産部門「水産土木」） □技術士（総合技術監理部門「建設部門」、「農業土木」、「森林土木」、「水産土木」）
◇左官工事 ◇モルタル工事 ◇モルタル防水工事 ◇吹付け工事 ◇とぎ出し工事 ◇洗い出し工事	左官工事業	●建設業法第15条第2号イ □1級建築施工管理技術士
◇石積（張）工事 ◇コンクリートブロック積（張）工事	石工事業	●建設業法第15条第2号イ □1級土木施工管理技術士 □1級建築施工管理技術士
◇冷暖房設備工事 ◇冷凍冷蔵設備工事 ◇空調機和設備工事 ◇給排水・給湯設備工事 ◇厨房設備工事 ◇衛生設備工事 ◇浄化槽設備工事 ◇水洗便所設備工事 ◇ガス配管工事 ◇ダクト工事 ◇管内更正工事	管工事業	●建設業法第15条第2号イ □1級管工事施工管理技術士 □技術士（機械部門・選択科目「流体工学」、「熱工学」、上下水道部門、衛生工学部門） □技術士（総合技術監理部門・選択科目「流体工学」、「熱工学」、「上下水道部門」、「衛生工学部門」）  ●建設業法第15条第2号ハ ①次の全てに該当する者 ・建設業法の一部を改正する法律（S62法律第69号）の施行の際に特定建設業の許可を受けて当該建設業を営んでいた者の専任技術者としてその営業所に置かれていた者又は法施行一年間に当該建設業に係る建設工事に関し監理技術者として置かれていた経験のある者
◇鉄骨工事 ◇橋梁工事 ◇鉄塔工事 ◇石油・ガスの貯蔵用タンク設置工事 ◇屋外広告塔工事 ◇開門・水門等の門扉設置工事	鋼構造物工事業	●建設業法第15条第2号イ □1級土木施工管理技術士 □1級建築施工管理技術士 □1級建築士 □技術士（建設部門「鋼構造及びコンクリート」） □技術士（総合技術監理部門「鋼構造及びコンクリート」）  ●建設業法第15条第2号ハ ①次の全てに該当する者 ・建設業法の一部を改正する法律（S62法律第69号）の施行の際に特定建設業の許可を受けて当該建設業を営んでいた者の専任技術者としてその営業所に置かれていた者又は法施行一年間に当該建設業に係る建設工事に関し監理技術者として
◇鉄筋加工組立工事 ◇ガス接合工事	鉄筋工事業	●建設業法第15条第2号イ □1級建築施工管理技術士
◇アスファルト舗装工事 ◇コンクリート舗装工事 ◇ブロック舗装工事 ◇路盤築造工事	舗装工事業	●建設業法第15条第2号イ □1級土木施工管理技術士 □1級建設機械施工技術士 □技術士（建設部門） □技術士（総合技術監理部門「建設部門」）  ●建設業法第15条第2号ハ 次の全てに該当する者 ・建設業法の一部を改正する法律（S62法律第69号）の施行の際に特定建設業の許可を受けて当該建設業を営んでいた者の専任技術者としてその営業所に置かれていた者又は法施行一年間に当該建設業に係る建設工事に関し監理技術者として
◇屋根ふき工事	屋根工事業	●建設業法第15条第2号イ □1級建築施工管理技術士 □1級建築士

◇発電設備工事 ◇送配電線工事 ◇引込線工事 ◇変電設備工事 ◇構内電気設備（非常用電源設備を含む）工事 ◇照明設備工事 ◇電車線工事 ◇信号設備工事 ◇ネオン装置工事	電気工事業	●建設業法第15条第2号イ □一級電気工事施工管理技士 □技術士（電気電子部門、建設部門） □技術士（総合技術監理部門・選択科目「電気電子部門」、「建設部門」）  ●建設業法第15条第2号ハ 次の全てに該当する者 ・建設業法施行令の一部を改正する政令（H6政令第391号）の公布の日から改正令附則第1項ただし書に規定する改正規定の施行日までの間に特定建設業の許可を受けて当該建設業を営む者の専任技術者としてその営業所に置かれている
◇コンクリートブロック積（張）工事 ◇レンガ積（張）工事 ◇タイル張り工事 ◇築炉工事 ◇石綿スレート張り工事	タイル・レンガ・ブロック工事業	●建設業法第15条第2号イ □1級建築施工管理技士 □1級建築士
◇板金加工取付工事 ◇建築板金工事	板金工事業	●建設業法第15条第2号イ □1級建築施工管理技士
◇ガラス加工取付工事	ガラス工事業	●建設業法第15条第2号イ □1級建築施工管理技士
◇塗装工事 ◇溶剤工事 ◇ライニング工事 ◇布張り仕上げ工事 ◇鋼構造物塗装工事 ◇路面標示工事	塗装工事業	●建設業法第15条第2号イ □1級土木施工管理技士 □1級建築施工管理技士
◇浚渫工事	浚渫工事業	●建設業法第15条第2号イ □1級土木施工管理技士 □技術士（建設部門、水産部門・選択科目「水産土木」） □技術士（総合技術監理部門・選択科目「建設部門」、「水産土木」）
◇アスファルト防水工事 ◇モルタル防水工事 ◇シーリング工事 ◇塗膜防水工事 ◇シート防水工事 ◇注入防水工事	防水工事業	●建設業法第15条第2号イ □1級建築施工管理技士
◇インテリア工事 ◇天井仕上げ工事 ◇壁張り工事 ◇内装間仕切り工事 ◇床仕上げ工事 ◇たたみ工事 ◇ふすま工事 ◇家具工事 ◇防音工事	内装仕上工事業	●建設業法第15条第2号イ □1級建築施工管理技士 □1級建築士
◇プラント設備工事 ◇運搬機器設置工事 ◇内燃力発電設備工事 ◇集塵機器設置工事 ◇給排水機器設置工事 ◇揚排水機器設置工事 ◇ダム用仮設備工事 ◇遊戯施設設置工事 ◇舞台装置設置工事 ◇サイロ設置工事 ◇立体駐車場設備工事	機械器具設置工事業	●建設業法第15条第2号イ □技術士（機械部門） □技術士（総合技術監理部門・選択科目「機械部門」）
◇冷暖房設備 ◇冷凍冷蔵設備 ◇動力設備又は燃料工業 ◇化学工業等の設備の熱絶縁工事	熱絶縁工事業	●建設業法第15条第2号イ □1級建築施工管理技士
◇電気通信線路設備工事 ◇電気通信機械設置工事 ◇放送機械設置工事 ◇空中線設備工事 ◇データ通信設備工事 ◇情報制御設備工事 ◇TV電波障害防除設備工事	電気通信工事業	●建設業法第15条第2号イ □技術士（電気電子部門） □技術士（総合技術監理部門「電気電子部門」）
◇植栽工事 ◇地被工事 ◇景石工事 ◇地ごしらえ工事 ◇公園設備工事 ◇広場工事 ◇園路工事 ◇水景工事 ◇屋上等緑化工事	造園工事業	●建設業法第15条第2号イ □1級造園施工管理技士 □技術士（建設部門、森林部門・選択科目「林業又は森林土木」） □技術士（総合技術監理部門・選択科目「建設部門」、「林業」又は「森林土木」）  ●建設業法第15条第2号ハ 次の全てに該当する者 ・建設業法施行令の一部を改正する政令（H6政令第391号）の公布の日から改正令附則第1項ただし書に規定する改正規定の施行日までの間に特定建設業の許可を受けて当該建設業を営む者の専任技術者としてその営業所に置かれている
◇さく井工事 ◇観測井工事 ◇還元井工事 ◇温泉掘削工事 ◇井戸築造工事 ◇さく孔工事 ◇石油掘削工事 ◇天然ガス掘削工事 ◇揚水設備工事	さく井工事業	●建設業法第15条第2号イ □技術士（上下水道部門・選択科目「上水道及び工業用水道」） □技術士（総合技術監理部門「上水道及び工業用水道」）
◇金属製建具取付工事 ◇サッシ取付け工事 ◇金属製カーテンウォール取付工事 ◇シャッター取付工事 ◇自動ドアー取付工事 ◇木製建具取付工事 ◇ふすま工事	建具工事業	●建設業法第15条第2号イ □1級建築施工管理技士
◇取水施設工事 ◇浄水施設工事 ◇配水施設工事 ◇下水処理設備工事	水道施設工事業	●建設業法第15条第2号イ □1級土木施工管理技士 □技術士（上下水道部門、衛生工部門・選択科目「水質管理又は廃棄物管理」） □技術士（総合技術監理部門・選択科目「上下水道部門」、「水質管理又は廃棄物管理」）
◇室内消火栓設置工事 ◇スプリンクラー設置工事 ◇水噴霧・泡・不燃性ガス・蒸発性液体又は粉末による消火設備工事 ◇室外消火栓設置工事 ◇動力消防ポンプ設置工事 ◇火災報知設備工事 ◇漏電火災警報機設置工事 ◇非常警報設備工事 ◇金属製避難はしこ・救助袋・緩降機・避難橋又は排煙設備の設置工事	消防施設工事業	-
◇ごみ処理施設工事 ◇し尿処理施設工事	清掃施設工事業	●建設業法第15条第2号イ □技術士（衛生工部門・選択科目「廃棄物管理」） □技術士（総合技術監理部門・選択科目「廃棄物管理」）